

伊集院保健所感染症情報

2025年第52週～2026年第1週（令和7年12月22日～令和8年1月4日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関【インフルエンザCOVID2、小児科1、基幹定点1、ARI 2】

疾 患 名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息		基準値	第50週	第51週	第52週	第1週	先週から の増減	第51週
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	239.00	182.00	155.50	89.50	↘	113.04	↘
インフルエンザ	30	10	10	129.50	137.00	69.50	37.00	↘	76.54	↗
COVID-19	—	—	—	0.00	0.00	1.00	1.00	→	0.26	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	1.00	0.00	1.00	↗	0.68	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	6.00	5.00	8.00	4.00	↘	2.13	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	4.16	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.32	↗
手足口病	5	2	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.26	↗
伝染性紅斑	2	1	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	2.58	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.32	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
R S ウィルス感染症	—	—	—	0.00	2.00	2.00	2.00	→	0.68	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC

旅行から帰って

何か変？ — 旅行後の健康チェック

海外旅行から帰ってきて、何らかの体調不良を訴える方は、実に全旅行者の数十パーセントに及ぶと言われています。中でも下痢などの胃腸症状、皮膚の異常、咳、そして発熱がよくみられる症状です。自然に回復することも多いのですが、特殊な感染症による体調不良で、感染症に対して治療が必要な場合もあります。

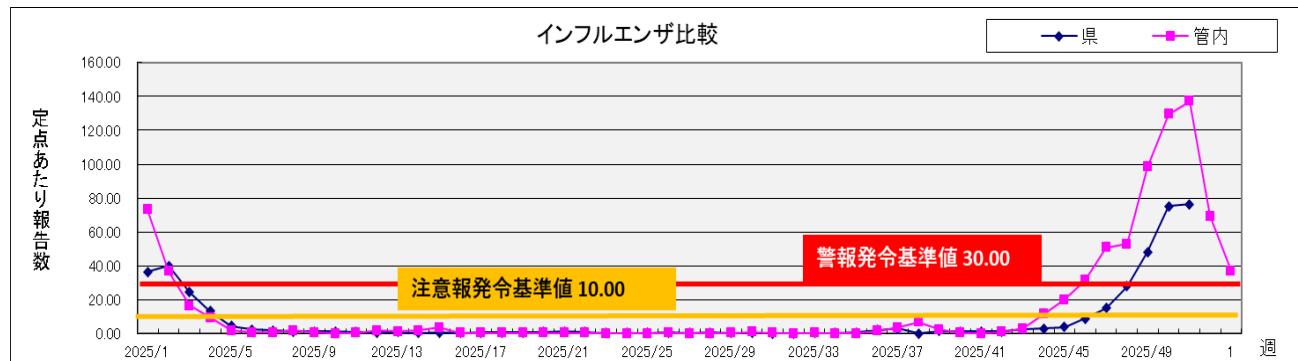
海外旅行、特に発展途上国を旅行した後、少なくとも6か月の間は、旅行関連の感染症が生じる可能性があることを覚えておきましょう。医療機関にかかる際には、必ず海外旅行したことを告げてください。 Dengue熱やリケッチャ感染症による症状は、ほぼ帰国後3週間以内にみられます。マラリアなどの寄生虫による感染症や一部の細菌による感染症の症状は、数週間から数か月あるいは数年たってから生じることもあります。

海外旅行後の体調不良には、思わぬ感染症が潜んでいる可能性があります。
早めに医療機関を受診しましょう。



● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生警報発令中）



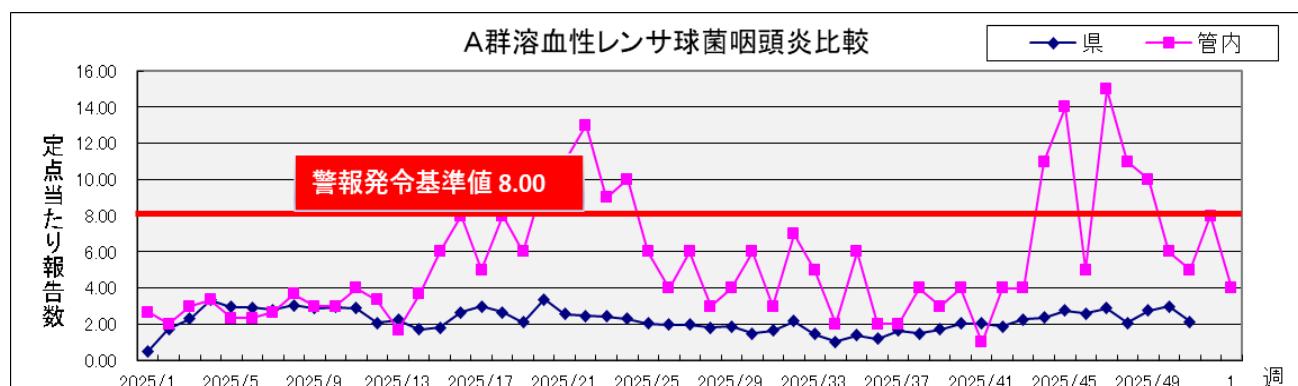
第1週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、52週の139人（定点当たり69.50）から65人少ない、74人（定点当たり37.00）です。

年齢別の報告では、10～14歳（18人）、5歳（8人）、4歳・15～19歳（各6人）、1歳・9歳（各5人）、2歳・3歳・6歳・8歳（各4人）、7歳・20～29歳（各3人）、0～5ヶ月・50～59歳（各2人）でした。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあります。高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



第1週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、4人でした。年齢別では、3歳・5歳・7歳・8歳（各1人）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が苺のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 12/22～1/4（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

52週（12/22～12/28）の出席停止については、インフルエンザが78人（型不明61人、A型16人、B型1人）報告されています。

疾患名 自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	インフルエンザB型
日置市	52	14	0
いちき串木野市	8	2	1
三島村	0	0	0
十島村	1	0	0
計	61	16	1